

お
お
し
ま
ま
ゆ
す
は
大島夢二葉さん



海外挑戦

な
か
じ
ま
中島りなさん



イギリス(10日間の語学留学)

週に3日ほど、英会話の習い事に励む北部中学校2年生。
得意科目は英語。英語を生かした仕事に就くことが将来の夢。

オーストラリア(2週間の語学留学)

安城学園高校の英語コースに通う2年生。英語が上手な家族の影響を受け、日常的に洋画など英語のコンテンツに親しむ。

プロフィール

東浦町若者の 海外挑戦応援事業

町内在住・在学の12～22歳の学生を対象に、海外挑戦に必要な費用や留学参加費を最大100万円補助する事業。今年、この事業を活用して海外へ挑戦した若者のうち2名を紹介します！

事業の
詳細▶



大島 渡航前に、行きたい場所やそこまでの交通手

じることができました。
中島 現地の学校へ一時的に入学しました。入学式、卒業式も開催され、卒業証書ももらいました。現地の学校では、自分のスマートフォンを使用して授業やテストを受けるなど、学校の授業の進め方で、日本との違いを感じることもできました。

Q どんなことをした？

中島 これまで海外に行ったことはありませんが、英語が上手な親についていくばかりでした。そんな中、ちょうど海外に行く機会を見つけたので、親の力なしで挑戦しようと思いました。
大島 普段、英会話教室で英語話者の講師の方と英会話をしています。それ以上に英語に囲まれた環境で、もっと英語を喋ってみたいと思い、海外へ行きました。

Q 海外挑戦のきっかけは？

段などを細かく調べて計画を立てておき、現地ではその計画に沿って過ごしていました。小・中学校で学んだ、産業革命などの歴史にまつわる建物や、科学が好きなので科学にまつわる博物館などを、実際に見て学んできました。

Q 苦労したことは？

中島 最初は、伝えたいことがあっても英語が出てこず、もどかしさを感じた瞬間がありました。しかし、日本語で思った文を直接英語に訳そうとせず、簡単な別の言い方に変えて伝えることで対応できました。

Q 今後の？

中島 もっといろんな国へ行ってみたいです。いつか、短期間の旅行のようなものではなく、ワーキングホリデーのように長期滞在し、そこに住んで、日常生活を経験してみたいです。

Q うれしかったことは？

中島 これまで友達や親などに頼ることが多く、自分で大きなことを成し遂げたことがあまりありませんでした。しかし、

知らない土地で自分の力で何とかする、「自立」できたと感じられたことがうれしかったです。



大島 現地の人と話すときに、正しい英語ではなかったかもしれないけど、自分の言葉で話して、伝えたいことが伝わった時は、やっぱりうれしかったです。
大島 高校生になったら1年間の留学を考えており、今後いろいろな経験を積んでいきたいなと思っています。将来はまだまだわからないけど、海外で英語を生かした仕事に就きたいです。